

事業所名

ロゴスケア吃音・言語発達相談室

支援プログラム

作成日

2026年

7月

1日

法人（事業所）理念		主に個別療育を通じて、一人ひとりの発達特性や個性に寄り添った支援を提供します。セラピストと児童との信頼関係を大切にし、安心して自分らしさを表現できる環境を整えながら、子どもたちの成長を支えます。日々の関わりの中で「伝わる喜び」「分かり合える楽しさ」を育み、コミュニケーションへの自信につなげます。そして、子どもたちが人との関わりを楽しみながら社会の中で豊かに生きていけるよう、「コミュニケーションを楽しめる未来」の実現を目指して支援を行います。					
支援方針		言語聴覚士による発達検査や保護者からの聞き取り、ご家庭での様子などをもとに総合的な評価を行い、一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援を実施します。まずは児童と信頼関係を築くことを大切にし、安心して通える環境を整えます。また、コミュニケーションを楽しめる工夫を取り入れながら療育を進め、定期的な再評価により支援内容を見直し、専門性の高い療育を継続的に提供します。					
営業時間		10時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	体調不良や喉の渇きなどを言葉や動作で伝えられるようにし、適切な水分補給や衣服の調節、安全な行動ができる力を育みます。課題に取り組むことで、遊び・学習への主体的な参加、時間やルールを守る力を身につけます。また、口腔機能の向上、道具の使用などの基本的な生活スキルを習得し、日常生活に必要な能力の向上を目指します。					
	運動・感覚	歩行や階段昇降、座る動作などの移動能力を高めるとともに、握る・つまむ・道具を使うなどの手先の操作性や姿勢維持、筋力・体幹の向上を支援していきます。また、視覚・聴覚・触覚・固有覚・前庭覚などの感覚を活用して必要な情報を収集し、感覚の偏りや過敏・鈍麻への対応力を高めていくような課題を提供します。環境調整や感覚刺激を通じて、落ち着いて生活や活動に取り組める状態を目指していきます。					
	認知・行動	空間・時間・数量などの概念形成を促し、物の位置や大きさ、数、長短、時間の経過などを理解できるよう支援していきます。また、物の特徴や用途、形や色の認識、音の聞き分けなどの力も養っていきます。加えて、認知の偏りに応じた支援を行い、情報を適切に処理する力を高めるとともに、急な変化への対応やルール理解、自分の気持ちや要求を適切に表現する力を育て、社会生活への適応も目指していきます。					
	言語コミュニケーション	言語の形成と活用を促し、経験や出来事と言葉を結び付けながら語彙を増やしていけるよう支援していきます。また、話し言葉や文字による情報を理解する力を育てるとともに、指差しや身振り、サインなど多様なコミュニケーション手段を活用し、相手とのやり取りや意思伝達を楽しみながら表現できるよう支援していきます。加えて、児童一人ひとりの話し方や気持ちに寄り添い、安心して話せる環境を整えることで、伝える楽しさや自信を育み、周囲との円滑なコミュニケーションにつながるよう支援します。					
	人間関係社会性	他者との関わりを通じて、人への興味や関心を広げながら、安定した人間関係の形成できるように支援していきます。日々の遊びや課題・活動を通して、伝わる喜びや人と関わる楽しさを育みます。また、自分の得意・苦手を理解し、気持ちや行動を調整する力を身につけ、他者との適切な距離感を学び、社会の中で豊かに生活できる力を支援します。					
家族支援		支援後のフィードバックや個別面談を通じてご家庭と連携し、児童への関わり方や支援方法をお伝えします。保護者やご兄弟を含めた不安や悩みに寄り添い、安心して子育てができるよう支援します。			移行支援		児童の発達状況や移行先の環境を把握し、関係機関と連携しながら情報共有や合理的な配慮への助言を行い、安心して新しい環境へ移行できるよう支援します。
地域支援・地域連携		地域の関係機関や保育所・学校等と連携し、情報共有や地域会議への参加を通じて支援体制を構築します。また、子育てサークル等、子育て支援団体との交流を促進し、地域で安心して過ごせる環境づくりに取り組みます。			職員の質の向上		定期的に症例検討会を実施し、支援内容や課題について職員間で共有・協議を行います。また、外部研修や専門研修へ積極的に参加し、専門知識や支援技術の向上を図り、より質の高い支援の提供に努めます。
主な行事等		季節ごとの行事や制作活動、自然に触れる体験などを取り入れ、子どもたちが四季の移り変わりを感じながら楽しんで参加できる課題を実施していきます。また、交流イベントを開催し、同じような悩みや課題を抱える利用者や保護者同士が交流できる機会を設けることで、情報共有や相互理解を深め、安心して相談し合える関係づくりや地域とのつながりの形成を支援します。					